

農林水産業に係る原油高騰対策について

【農林水産省・林野庁・水産庁】

提案・要望の内容

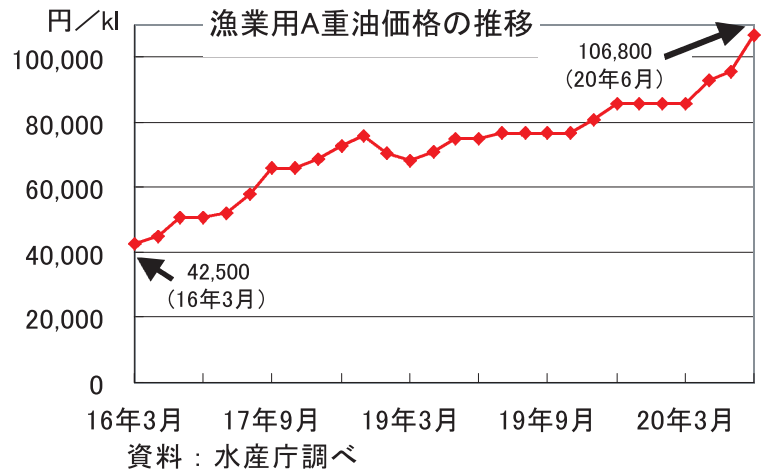
原油価格高騰に伴う燃油や生産資材の値上がり、農林水産業の生産コストの増大を引き起こし、価格決定力が非常に弱い農林水産業の経営は危機的な状況にある。

については、原油価格の高騰を沈静化させるよう、国際社会に働き掛けをするとともに、以下の対策を早急に実施し、農林水産業の経営の安定化を図ること。

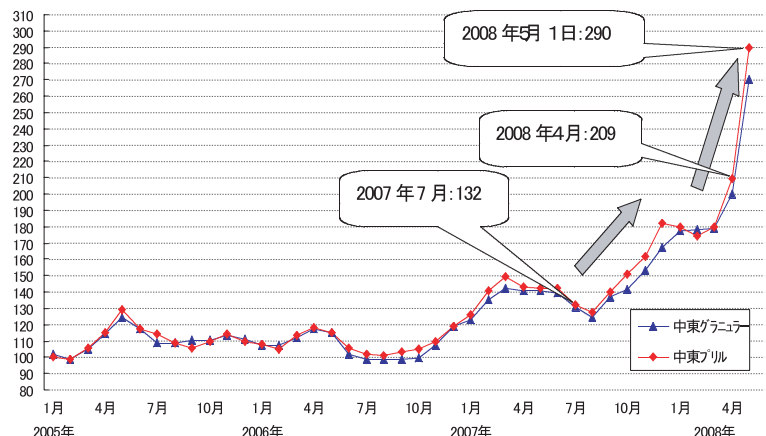
- 1 生産コストの上昇が価格に適正に反映されるよう、流通業界や消費者等の理解醸成を図るとともに、具体的な仕組みづくりを進めること。
- 2 水産業燃油高騰緊急対策事業における要件緩和等の弾力的な運用、継続及び基金の積み増し、また農業・林業の安定経営に係る交付金事業の充実など、原油高騰対策に係る諸施策全般を拡充・強化すること。
- 3 安定的な生産活動に必要な燃油や資材の確保を図ること。

【現状と課題】

- 昨年12月に1バレル100米ドルを窺っていた原油価格は、本年5月には130米ドルを超えた。この原油価格の高騰により、燃油価格及び生産資材価格は、過去に例のない急騰を続けている。
- 農林水産業の生産コストは燃油価格高騰等により大幅に上昇している一方、農林水産物の産地価格は伸び悩んでおり、農林漁家の経営、ひいては国民の食料の安定確保に燃油価格等の高騰が深刻な影響を及ぼしている。
- 生産者は、国等の支援を活用しながら、省エネや経費節減に取り組んでいるものの、これ以上の自助努力が困難な状況になっている。
- 肥料を中心とした資材費の大幅な高騰が懸念されており、資材施用量低減に向けた施設・機械の導入が必要である。
- A重油については、在庫が過去最低レベルで推移している。海外高によって国内の採算性が長期低迷し、精製サイドには生産意欲が低下しているとの報道もあり、安定的な燃油の確保が懸念される。

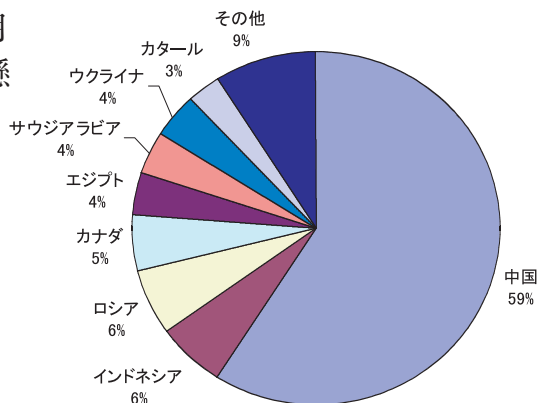


【図】尿素国際市況(指数・ドルベース)



- 尿素の世界最大の生産・輸出国である中国が4月から実質的に輸出を禁止しており肥料等の不足が懸念される。

【図】2007年尿素国別生産割合



【本県の取組状況・方針】

- 農業においては、暖房費の低減を図るため、ハウス加温用暖房機の更新支援、被覆資材の高機能化支援等を実施している。
- 高熱量を抑えるための品種転換等に関する技術情報の提供により、経営の安定に向けた支援を行っている。
- 重油等を利用した木材乾燥機やキノコ生産用暖房機を、木質バイオマスボイラーへの転換を促す必要がある。
- 水産業においては、国が新たに造成した総額102億円の基金による水産業燃油高騰緊急対策事業の活用を漁業者団体が検討しているところであり、また、県単独の事業により、燃油使用の効率化のための船底清掃等への助成を行っている。

【提案・要望の効果等】

- 燃油価格高騰に対応した、農林水産業が確立され、農林漁家の経営の安定化及び食料の安定供給の確保を図ることができる。